

2022年度 日本工学院専門学校											
音響芸術科											
音楽基礎 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	宮澤 由衣・吉田 光宏			実務経験	有	職種	ピアニスト／ミュージッククリエイター				
担当教員紹介											
ピアニストとして、TV、ラジオ、ステージ、レコーディングなどで活動しつつ、日本工学院専門学校のミュージックカレッジの講師として、音楽基礎を10年以上担当している。											
授業概要											
基本的には、個人ごとに講義内容をノートにとり、応用問題などで確認しながら進めていく。個々の学生の音楽経験の差もあると思うが、講義だけではなく、イヤートレーニング、リズムトレーニング、曲分析など、実際に音楽を体感できるようにしていきながら講義を進めていく。											
到達目標											
この科目では、音楽業界に携わる人にとって基本となる音楽の専門的な知識を習得するのが目標である。音楽業界も変化してきていて、必ずしも楽譜が読めなくても、仕事はできるようになってきてはいるが、ミュージシャンとのコミュニケーションをスムーズに進めるにはやはり音楽基礎力が問われる事も多い為、音楽の知識を広く深く持つことを目標に取り組んでいくことを求める。											
授業方法											
本講義はオンライン形式で、冒頭にその回のノート完成予定図を確認してもらい、それを後々見返した時に各自わかりやすいようにノートを作ってもらうことを求める。その後、テスト問題にて確認して理解度を上げていきたい。											
成績評価方法											
試験	50% 試験と課題を総合的に評価する										
平常点	50% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する										
履修上の注意											
前週の内容を再確認し、翌週の授業に臨むこと。また授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
必要に応じて適宜資料を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	音楽基礎1・2（1年次の内容）の確認と復習										
第2回	音楽基礎1・2（1年次の内容）の確認と復習テスト										
第3回	現場で使う音楽記号、音楽用語について										
第4回	楽器学（4 rhythm／管楽器）										
第5回	楽器学（弦楽器／打楽器）										

2022年度 日本工学院専門学校	
音響芸術科	
音楽基礎 3	
第6回	舞台機構調整技能士の試験にでてくる音楽基礎
第7回	試験対策とまとめ
第8回	インストゥルメントトラックを使用しバーチャルインストゥルメントを演奏してみる。
第9回	MIDIの入力、リアルタイム入力を行う。ドラムの入力。クオンタイズを理解するようにする。
第10回	MIDIの入力、ステップ入力を行う。楽譜の入力、クオンタイズを理解するようにする。
第11回	オーディオ素材のインポート、ワークスペースブラウザーからオーディオ素材をインポートし様々な素材を組み合わせる。
第12回	ダイアトニックコードを理解できるようになる。
第13回	コードファンクションの理解。コードファンクションを理解することによりコード進行が自分で組み立てられるようになる。
第14回	MIDIで作った音をオーディオに変換し、オーディオ素材と組み合わせることができるようになる。
第15回	作成した曲をミックスし、トラックバウンスまたはディスクバウンスを行い、ステレオインターリーブのファイルにする。